

1 岐阜県流域下水道事業の業務の状況

岐阜県流域下水道事業は、木曽川及び長良川流域の4市6町の汚水を、各務原浄化センターにおいて、広域的に処理することにより、流域住民の生活環境の改善と共に公共用水域の水質保全を図っています。

近年は、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれ、将来にわたり必要なサービスが安定的に提供できるよう計画的な更新整備が必要となってきています。

なお、令和2年4月から、地方公営企業法に基づく企業会計として経理を行っています。

令和7年度（上半期）の状況

1 概況

本年度9月までの流入汚水量は、前年同期に比べ、0.3%の減少となっています。

流入汚水量の状況

区分	今期	前年同期	比較増減	対前年比率
木曽川右岸流域下水道事業	m ³ 26,390,142	m ³ 26,466,252	m ³ △ 76,110	% 99.7

2 経理の状況

本年度9月末までの経理状況は次のとおりで、前年同期と比べ、収益は2.1%の減少、費用は12.3%の増加となっています。収益の減少については、流入汚水量の減少等によるものであり、費用の増加については、管きょ・ポンプ場及び処理場費の増加等によるものです。

経理の状況

区分	今期	前年同期	比較増減	対前年比率
収益	円 2,003,190,685	円 2,047,072,505	円 △43,881,820	% 97.9
費用	円 1,274,657,907	円 1,135,348,097	円 139,309,810	% 112.3
差引	円 728,532,778	円 911,724,408	円 △183,191,630	% 79.9

（減価償却費を除く。）

令和7年度岐阜県流域下水道事業残高試算表

(令和7年9月30日現在)

(単位:円)

55,206,764,901	固 定 資 産	
55,200,612,026	有 形 固 定 資 産	
6,152,875	無 形 固 定 資 産	
2,363,607,726	流 動 資 産	
2,221,227,937	現 金 預 金	
5,458,200	未 収 金	
4,803,200	前 払 金	
132,118,389	そ の 他 流 動 資 産	
	固 定 負 債	13,082,087,854
	企 業 債	9,988,815,801
	他 会 計 借 入 金	3,093,272,053
	流 動 負 債	1,257,098,281
	企 業 債	397,721,081
	他 会 計 借 入 金	17,398,000
	前 受 金	315,094,470
	預 り 金	371,431,186
	そ の 他 流 動 負 債	155,453,544
	繰 延 収 益	39,119,652,817
	長 期 前 受 金*1	51,022,614,319
11,902,961,502	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額*2	
	資 本 金	802,296,808
	剩 余 金	2,580,704,089
	資 本 剰 余 金	2,101,862,372
	利 益 剰 余 金	478,841,717
	下 水 道 事 業 収 益	2,003,190,685
	営 業 収 益	1,451,093,694
	営 業 外 収 益	552,096,991
1,274,657,907	下 水 道 事 業 費 用	
1,220,305,093	営 業 費 用	
54,352,814	営 業 外 費 用	
58,845,030,534	合 計	58,845,030,534

令和6年度岐阜県流域下水道事業決算について

流域下水道事業の運営については、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれるため、将来にわたり必要なサービスが安定的に提供できるよう計画的な更新整備に努めました。

1 流入汚水量

年間流入汚水量(有収水量)は、47,909,896m³となりました。

流入汚水量実績

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年比率
木曽川右岸流域下水道事業	m ³ 47,909,896	m ³ 48,475,812	m ³ △ 565,916	% 98.8

2 収益的収入・支出

収益は、営業収益が維持管理費負担金の2,970,414千円で、他会計負担金等の営業外収益と合わせ5,751,129千円となりました。

一方、費用は人件費、物件費、減価償却費等の営業費用5,416,435千円に、企業債支払利息等109,796千円を合わせ5,526,231千円となり、この結果、当年度純利益は224,898千円となりました。

収益的収入・支出

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年比率
下水道事業収益	円 5,751,129,051	円 5,786,681,445	円 △ 35,552,394	% 99.4
営業収益	2,970,413,552	2,714,645,472	255,768,080	109.4
営業外収益	2,780,715,499	3,072,035,973	△ 291,320,474	90.5
下水道事業費用	5,526,231,052	5,532,737,727	△ 6,506,675	99.9
営業費用	5,416,435,450	5,404,880,462	11,554,988	100.2
営業外費用	109,795,602	127,857,265	△ 18,061,663	85.9
当年度純利益	224,897,999	253,943,718	△ 29,045,719	88.6

3 資本的収入・支出

資本的収入は1,670,537千円、資本的支出は2,407,342千円となり、資本的支出不足額は736,805千円となりました。

資本的収入・支出

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年比率
資本的収入	円	円	円	%
	1,670,537,055	1,226,771,979	443,765,076	136.2
企業債	779,200,000	407,700,000	371,500,000	191.1
建設費負担金	252,946,549	346,766,222	△ 93,819,673	72.9
他会計補助金	536,834	167,590	369,244	320.3
他会計借入金	0	103,732,000	△ 103,732,000	皆減
国庫補助金	637,424,122	368,406,167	269,017,955	173.0
雑収入	429,550	0	429,550	皆増
資本的支出	2,407,342,418	1,825,296,466	582,045,952	131.9
建設改良費	1,274,091,144	667,438,544	606,652,600	190.9
企業債償還金	1,121,186,274	1,157,857,922	△ 36,671,648	96.8
他会計からの長期借入金償還金	12,065,000	0	12,065,000	皆増
差引	△ 736,805,363	△ 598,524,487	△ 138,280,876	123.1

令和6年度岐阜県流域下水道事業損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

1 営業収益				
(1) 維持管理費負担金	<u>2,970,413,552</u>		2,970,413,552	
2 営業費用				
(1) 管きよ、ポンプ場及び処理場費*3	2,522,819,698			
(2) 総係費*4	9,032,980			
(3) 減価償却費*5	2,875,939,940			
(4) 資産減耗費*6	<u>8,642,832</u>	<u>5,416,435,450</u>		
営業利益				△2,446,021,898
3 営業外収益				
(1) 他会計負担金	538,611,000			
(2) 他会計補助金	10,798,897			
(3) 使 用 料	5,030,632			
(4) 長期前受金戻入*1	2,224,832,426			
(5) 雜 収 益	<u>1,442,544</u>	2,780,715,499		
4 営業外費用				
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	108,642,399			
(2) 雜 支 出	<u>1,153,203</u>	<u>109,795,602</u>	<u>2,670,919,897</u>	
経常利益				224,897,999
当年度純利益				224,897,999
前年度繰越利益剰余金				0
その他未処分利益剰余金変動額				253,943,718
当年度未処分利益剰余金				<u>478,841,717</u>

令和6年度岐阜県流域下水道事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地	3,730,046,865
ロ 建 物	3,419,943,691
減価償却累計額	△ 588,420,859
ハ 構 築 物	45,262,642,228
減価償却累計額	△ 8,050,194,205
ニ 機 械 及 び 装 置	37,212,448,023
減価償却累計額	△ 6,748,836,573
ホ 車 両 運 搬 具	10,784,833,213
減価償却累計額	△ 2,570,285
ヘ 工 具 、 器 具 及 び 備 品	770,619
減価償却累計額	△ 9,688,370
ト 建 設 仮 勘 定*7	12,016,271
有形固定資産合計	491,302,304
固定資産合計	<u>55,062,940,127</u>
2 流 動 資 産	55,062,940,127
(1) 現 金 預 金	1,488,748,197
(2) 未 収 金	483,606,629
(3) その他流動資産	
イ 保 管 有 価 証 券	<u>1,000,000</u>
その他流動資産合計	<u>1,000,000</u>
流 動 資 産 合 計	<u>1,973,354,826</u>
資 産 合 計	<u>57,036,294,953</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>9,756,915,801</u>
企業債合計	9,756,915,801
(2) 他会計借入金	
イ その他の長期借入金	<u>3,093,272,053</u>
他会計借入金合計	<u>3,093,272,053</u>
固定負債合計	12,850,187,854

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>1,037,197,491</u>
企業債合計	1,037,197,491

(2) 他会計借入金		
イ その他の長期借入金	<u>17,398,000</u>	
他会計借入金合計		17,398,000
(3) 未 払 金		31,768,253
(4) 引 当 金*8	<u>7,536,000</u>	
イ 賞与引当金		7,536,000
引当金合計		315,094,470
(5) 維持管理前受金*9		371,431,186
(6) 維持管理負担金繰越金		
(7) その他流動負債		
イ 預り金	16,470	
ロ 預り有価証券	<u>1,000,000</u>	
その他流動負債合計		<u>1,016,470</u>
流動負債合計		1,781,441,870
5 繰延収益		
長期前受金*1	50,924,625,834	
長期前受金収益化累計額*2	<u>△ 11,902,961,502</u>	
繰延収益合計		<u>39,021,664,332</u>
負債合計		<u>53,653,294,056</u>
資 本 の 部		
6 資 本 金		802,296,808
7 剰 余 金		
(1) 資本剰余金		
イ その他資本剰余金	<u>2,101,862,372</u>	
資本剰余金合計		2,101,862,372
(2) 利益剰余金		
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>478,841,717</u>	
利益剰余金合計		<u>478,841,717</u>
剰余金合計		<u>2,580,704,089</u>
資本合計		<u>3,383,000,897</u>
負債資本合計		<u>57,036,294,953</u>

用語解説

*1 長期前受金、長期前受金戻入

減価償却を行う固定資産の取得又は改良に充てるため補助金等の交付を受けた場合において、その交付を受けた金額に相当する額を長期前受金として計上します。

また、長期前受金として計上した額のうち、当年度の減価償却見合い分を長期前受金戻入として計上します。

*2 長期前受金収益化累計額

長期前受金戻入をした額の合計です。

*3 管きよ、ポンプ場及び処理場費

主に汚水を浄化し、施設を維持するための費用です。

*4 総係費

主に事業の経営管理などを行うための費用です。

*5 減価償却費

建物や機器等の固定資産は、使用や時間の経過によってその経済的価値が減少していきます。この減少額を毎事業年度の費用として配分することを減価償却といいます。

*6 資産減耗費

固定資産が使用によって滅失し、また機能的に使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄します。この場合、固定資産の減価償却費として費用化されていない額を資産減耗費として計上します。

*7 建設仮勘定

巨額の資産の建設等については、完成までその建設期間中の資産について、一時的に使用する勘定科目（建設仮勘定）で整理します。

*8 引当金

将来発生する費用に備えるために計上する科目です。流域下水道事業会計には賞与引当金があります。

*9 維持管理前受金

緊急を要する大規模な修繕工事が発生した場合に備えて、市町からの維持管理負担金を積立てたものです。